

2022年東大比較文學會会員主要業績リスト

氏名	業績タイトル(最大3つ)	出版社、掲載媒体名	出版年月
有信 真美菜	『アカデミズムとジェンダー 歴史学の現状と課題』(大江洋代、清水領、芹口真結子、高野友理香、寺本敬子、三枝暁子との共著)	積文堂	2022年5月
石原 剛	「飛翔する身体—戦間期アメリカ航空映画考」	『モダンの身体—マシーン・アート・メディア』小島遊書房、71—94頁	2022年10月
	「アメリカの学校教科書におけるマーク・トウェイン」	『日本児童文学』68巻5号、日本児童文学者協会、小峰書店、56—63頁	2022年10月
伊藤 徳也	「北京のタゴールと徐志摩、林徽因——魯迅「私の失恋」の背景を探る」	『周作人研究通信』13号、p.1-17	2022年6月
井戸 桂子	「コンキスタドルとしてのクロードル—『黄金の頭』と日本旅行での散文詩」	『研究紀要』第29号、駒沢女子大学、63—79頁	2022年12月
稲賀 繁美	『矢代幸雄』ミネルヴァ日本評伝選	ミネルヴァ書房	2022年1月
今橋 映子	「美術建築としての吾楽殿(1911年)——〈民藝〉直前の装飾美術運動と建築界」	『近代画説』第31号、明治美術学会、37—54頁	2022年12月
大嶋 仁	『科学と詩の架橋』	石風社	2022年8月
	<i>Reflections on Science and Poetry</i>	Hana-Shoin	2022年7月
	「言語という監獄」	叙説Ⅲ—20、23-38頁	2022年8月
大西 由紀	「通説を覆す確かな実証研究——浅草オペラの原作魔改造は、未熟ゆえの無理解によるものではなかった」[中野正昭『ローシー・オペラと浅草オペラ』(森話社、2022年)への書評]	『図書新聞』第3570号、武久出版、5面	2022年12月10日
	曲目解説「メンデルスゾーン《「夏の名残りのばら」による幻想曲》」「バルフ作曲／フィッツボール作詞:「私は陽気なジブシー嬢」」	曲目解説「メンデルスゾーン《「夏の名残りのばら」による幻想曲》」「バルフ作曲／フィッツボール作詞:「私は陽気なジブシー嬢」」	2022年9月17日
権 丁熙	「小説」というメディア—徳富蘆花「訳」の「小説の小説」論—	『比較文学』第64巻、65—79頁	2022年3月
小谷野 敦	『川端康成と女たち』	幻冬舎	2022年3月
古田島 洋介	「漢文訓読の《三重詠》——標準模型構築の試み」	東大比較文学会《比較文学研究》第107号、52-68頁	2022年1月
	「〈返り点＝ベクトル理論〉の試み——返り点は合理的に説明できるのか？」	《明星大学紀要・人文学部日本文化学科》第30号、39-52頁	2022年3月
	「おまじないの領分——私が体験した中国人社会の「怪しげな力。」	東アジア比較文化国際会議日本支部《東アジア比較文化研究》第21号、66-79頁	2022年7月
崔 在喆	『日本近現代知識人・文学者の韓国認識』	勉誠出版	2022年8月
定村 来人	<i>Kyōsai: The Israel Goldman Collection</i>	London: Royal Academy of Arts	2022年3月
	<i>Kyōsai's Animal Circus: From the Israel Goldman Collection</i>	London: Royal Academy of Arts	2022年3月
鈴木 禎宏	「柳宗悦と富本憲吉 出会いから日本民藝館開館まで」	『民藝』829号、日本民藝協会、21-25頁	2022年1月
田村 隆	「『デジタル源氏物語』の共同開発について —AIとの協働の可能性」	『第5回AIと日本語教育国際シンポジウム予稿集』淡江大学日本語学科・村上春樹研究センター、6-14頁	2022年4月
	『EAA Forum17 一高中国人留学生と101号館の歴史』(共著)	東アジア藝文書院	2022年4月
千葉一幹	『日本文学の見取り図 宮崎駿から古事記まで』	ミネルヴァ書房	2022年2月

趙 怡	「上海租界のフランス語新聞が報じた中国映画とスターたち」	中国ジェンダー研究会編『中国の娯楽とジェンダー』勉誠出版、42-59頁	2022年3月
	「上海租界のフランス語新聞 <i>Le Journal de Shanghai</i> が報じた日本文化」	『言語と文化』25号、129-145頁	2022年3月
	「上海租界のフランス語新聞にみる近代中国美術——林風眠と杭州国立藝術院を中心に」	瀧本弘之・戦暁梅編『近代中国美術の境界』勉誠出版、25-46頁	2022年5月
出口 智之	『明治文学の彩り 口絵・挿絵の世界』	春陽堂書店	2022年8月
	『森鷗外、自分を探す』	岩波ジュニア新書	2022年12月
	「近代文学研究は近代「文学」研究で十分か？—樋口一葉「十三夜」から考える画文学の試み—」	『日本文学』第71巻第4号、2-13頁	2022年4月
徳盛 誠	「参入するテキスト—— 一条兼良の『日本書紀』「神代」解釈」	『国語と国文学』二〇二二年一月号、36-50頁	2022年1月
永井 久美子	「見た目差別と貴族の価値観——「病草紙」に描かれた平安時代」	『大阪保険医雑誌』第670号（特集・ルッキズム——外見至上主義の変遷と現在）、大阪保険医協会、9-11頁	2022年6月
長谷川 ニナ	「バネガス＝アロヨ工房創業者アントニオ自身が児童向けの物語を執筆したかという考察——物語『にわか医者』をめぐる一」	『上智大学外国語学部紀要』56、上智大学外国語学部、39-65頁	2022年3月
増田 裕美子	「扇と肖像画」	『二松学舎大学人文論叢』第108輯 43-69頁	2022年3月
松枝 佳奈	「森鷗外のロシア——『棕鳥通信』にみる帝政ロシアの政治と社会の問題」	『鷗外』111、21-40頁	2022年7月
山中 由里子	"How to Uproot a Mandrake: Reciprocity of Knowledge between Europe, the Middle East, and China."	<i>Horizons médiévaux d'Orient et d'Occident: Regards croisés entre France et Japon</i> . Eds. Hanno Wijsman et als., Paris: Editions de la Sorbonne, pp. 169-195	2022年10月
	"Dynamics of Religious Objects in and outside Museums: How Material Culture of Islam is 'Framed' in Japan."	<i>Handling Religious Things : The Material and the Social in Museums</i> , Edith Franke and R. Jelinek-Menke (eds.), Hildesheim: Georg Olms Verlag, pp.183-200	2022年3月